

旭日小綬章(船舶無線功勞)

石井 孝さん

(元全国船舶無線工事協会会長、函南町)

思いがけない受章に驚き、心からうれしく思います。妻、社員、同業や全国船舶無線工事協会の皆さんのおかげと感謝しています。船舶無線の道に入って50年余、趣味のアマチュア無線も続け、無線と共に人生を歩んできました。協会は創立時から携わり、昨年50周年を迎えました。会長任期の終わりに発生した東日本大震災では、同業者が甚大な被害を受け、いまだ行方不明の知人もいて、心を痛めています。

無線と共に人生歩む



旭日小綬章(放送事業功勞)

小寺 健一さん

(元テレビ静岡社長、静岡市駿河区)

「人と地域を明るくするテレビ局」を目指してきた。多くの人に協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。キー局のフジテレビから1998年にテレビ静岡社長に就任。ニュース、娯楽など自社番組を強化しながら、イベントを通じて視聴者との距離を縮め、自社ブランドの向上にも力を入れてきた。多メディア化の時代を迎え、環境の変化は著しいが、地域と共生を目指す地方局の姿を後進にも伝えたい。

地域と共生、後進にも



地域の子の安全を守る

瑞宝双光章(学校保健功勞)

長須賀恒雄さん

(学校薬剤師、小山町)

地域の子どもの安全を守りたいと、PRの水质調査や施設の細菌検査などに取り組んできました。地味な仕事ですが、50年にわたり、大きな事故も無く続けられたのは周囲や家族のおかげです。環境が変われば必ず問題は起きます。環境が与える影響の大きさを痛感してきました。新型インフルエンザや放射性物質など新たな課題に直面する中、今後も地域で大きな事故が無いよう見守っていきます。



更生目指す少年支援

旭日小綬章(木材業振興功勞)

杉山 陽一さん

(県木材協同組合連合会会長、静岡市清水区)

木材業界の皆さんの協力、配慮によるもので、私にはできずぎの受章。支えてくださった方々に心から感謝したい。東日本大震災や最近の台風12号、15号でこの業界も実に多くの皆さんが被災された。そうした時期の受章となり、大変申し訳なく思いながら、その復旧に少しでもお役に立てればと思っています。静岡県産材の普及についても、業界の実情に合わせてながら県と一緒に、一層力を入れていきたい。

県産材の普及推進も



瑞宝単光章(社会福祉功勞)

川口 フサさん

(元民生・児童委員、沼津市)

36年間の活動が評価されたことを大変うれしく思います。「頑張りすぎないで」という先輩の言葉にも助けられ、長年にわたり高齢者支援に力を注いできました。老人ホーム利用者の相談員を務めたほか、災害に備えた地域の要救護者マップを作成したことが印象深い。一人一人を訪ねて病状や必要な治療法を聞き取るなど、委員として信頼関係の大切さを学びました。体が動く限り高齢者の手助けをしていきたい。

高齢者手助けに注力



ボート場

旭日双光章(スポーツ振興功勞)

内藤 元巳さん

(元県ボート協会会長、浜松市西区)

長い人生、校総体わりま大会を天竜の根付にボートは全ボートのため



建具職人